

会議概要

平成 19 年 11 月掲載

開催概要

- ◇ 名 称：平成 19 年度第 2 回新潟市若年者職業支援ネットワーク会議
- ◇ 日 時：平成 19 年 10 月 26 日(金)午後 1 時半～午後 3 時半
- ◇ 場 所：新潟市役所第 1 分館 301 会議室
- ◇ 出席委員：今井委員，西條委員，中島委員，中山委員(代理出席佐藤岩夫指導主事)，成田委員(代理出席萩原部長)，樋口委員，福島委員，本間委員，前田委員(代理出席栗原主査)，皆川委員，山岸委員，渡辺委員
- ◇ 事務局
商工労働課：塚本課長，笠原雇用対策室長(司会)，新井田雇用対策室主幹，堀川雇用対策室主事，平岡雇用対策室主事
労協センター事業団：武田新潟事務所長
NPO 法人メンタルフレンドにいがた：市嶋副理事長
NPO 法人 Made in 越後：真島理事長

概要

- ◇ 商工労働課長の挨拶のあと，事務局から出席状況と資料の確認がありました。

【新潟市若年者職業支援ネットワーク会議の役割について】

- ◇ 事務局からネットワーク会議の役割について，支援対象者の把握と各支援機関間の橋渡しが主なものであり，年 3 回開催したいという説明がありました。

【対象者の範囲について】

- ◇ メンタルフレンドにいがた市嶋副理事長から，働きたいが具体的な行動を取っていない「非求職型」ニートとフリーター及び失業者(不安定層)をサポステの対象者としてほしいという説明がありました。

【会議の名称について】

- ◇ 事務局から，会議の目的を就労に特化せずに若年者を広範囲かつ個別的に支援していくため，また，他都市の状況などから名称を新潟市若年者職業支援ネットワーク会議から新潟市若年者自立支援ネットワーク会議に変更する提案がされ，了承されました。

【新潟地域若者サポートステーションの実績報告について】

- ◇ サポートステーション武田所長から新潟市との連携やマスコミ報道などが功を奏し7月9日の開設から3か月で延べ711名の利用があり、そのうち10名の進路が決定したとの報告がありました。
- ◇ 就労支援については、同じ館内にハローワーク新潟のジョブカフェや若者しごと館が入っていることから、就労に比較的近いところにいる利用者には便利な環境となっていることの説明がありました。
- ◇ 今後の課題として、外出もままならずサポートステーションに来ることのできない対象者をどのように把握するか、また自前の就労受け入れ先の確保の2点が挙げられました。
- ◇ サポートステーションの利用者について、5名の事例発表がありました。

【対象者の効果的な把握方法について】

- ◇ 10月末の数字がまとまった時点でPRをかねて記事を書いてもらうように新潟市から報道各社へ情報を流してみることにしました。
- ◇ 生活保護世帯については市のケースワーカーを通じて対象となりそうな世帯に直接紹介するように働きかけることにしました。
- ◇ 就労に近い利用者が多いため、様々なチャンネルを持つ委員の皆様から効果的にサポートしてもらえよう、事務局から依頼がありました。
- ◇ 青年の家館長の皆川委員から、青年の家には青年のみならず色々な利用者がいるので、サポステ主催のセミナーのチラシを置くなどPRの場として利用して欲しいという提案がありました。
- ◇ その他の各支援機関へもサポステ側からサポートのお願いをしに行くという説明がありました。
- ◇ 就労体験受入事業所の拡大について、基本的にはハローワークを通じたものが多いが、他都市の事例として多数の企業を組織化して受入の仕組みを作っているところがあるとのこと。新潟のサポステでは事務局が1社1社自分たちでお願いに上がっており、人事担当者の中にはどんな人たちなのかを実際に見るために、企業PRをかねてフリースペースに来てもらって仕事の内容を話してもらったりしているが時間も人手も足りないためなかなか受入事業所数は伸びないとの報告がありました。
- ◇ 新潟商工会議所の部会の中で少し時間をもらい若者サポートステーションについて企業の方に説明する機会を設けさせていただくこと、また会報で事業について紹介する記事を載せていただくことを了承いただきました。
- ◇ 経営者協会で受託し運営しているジョブカフェで同様の受入体制は整えているが、サポステの利用者のように個人差があるとジョブカフェと同じように紹介するというのはなかなか難しいので、受入の仕組みを作るよりは個々のマッチングに力を入

れるべきではないかとの意見が出ました。

- ◇ 事務局から，今回出された意見は個別の機関に当たりながら，分科会を作ることも視野に入れてひとつひとつ相談していきたいという方針が示されました。また受入事業所を増やすための部会のメンバーの選任については会長・副会長に一任することになりました。
- ◇ 中島委員から，就労に近い利用者のみならず，そもそも働くことに意味を見出せない非希望型の利用者をどう就労に持っていくか，そこを議論する分科会をも立ち上げたいとの要望があり，委員長がサポステの利用者の状況をみながら分科会立ち上げの是非やメンバー，検討方法等について考えたいと答えました。

会議資料

- ◇ 次第
- ◇ 委員名簿
- ◇ 席次表
- ◇ 資料
 - 1 「若者自立支援ネットワーク整備モデル事業」の概念図
 - 2 支援が必要とされる若年者層とは
 - 3 7-9月新潟サポステ活動の報告
 - 4 新潟サポステ事例